

ダイワ先進国リートα

為替ヘッジあり（毎月分配型）

為替ヘッジなし（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第78期（決算日 2019年1月15日）

第79期（決算日 2019年2月13日）

第80期（決算日 2019年3月13日）

第81期（決算日 2019年4月15日）

第82期（決算日 2019年5月13日）

第83期（決算日 2019年6月13日）

（作成対象期間 2018年12月14日～2019年6月13日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約10年間（2012年6月27日～2022年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり （毎月分配型）	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ク レディ・スイス・ユニバーサル・ トラスト（ケイマン）Ⅱ－グロー バル・リートα・ファンド（円 ヘッジクラス）」の受益証券（円 建） ロ．ダイワ・マネースtock・マ ザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし （毎月分配型）	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ク レディ・スイス・ユニバーサル・ トラスト（ケイマン）Ⅱ－グロー バル・リートα・ファンド（ノン ヘッジクラス）」の受益証券（円 建） ロ．ダイワ・マネースtock・マ ザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けませ ん。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 （評価益を含みます。）等とし、原則として、継 続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準 を勘案して分配金額を決定します。ただし、分 配対象額が少額の場合には、分配を行なわないこ とがあります。また、第1計算期末には、収益の 分配は行ないません。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、リート（不動産投資信託）
への投資とオプション取引を組み合わせたカ
バードコール戦略を構築し、信託財産の成長
をめざしております。当作成期につきまして
もそれに沿った運用を行ないました。ここ
に、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5733>
<5734>

為替ヘッジあり (毎月分配型)

最近30期の運用実績

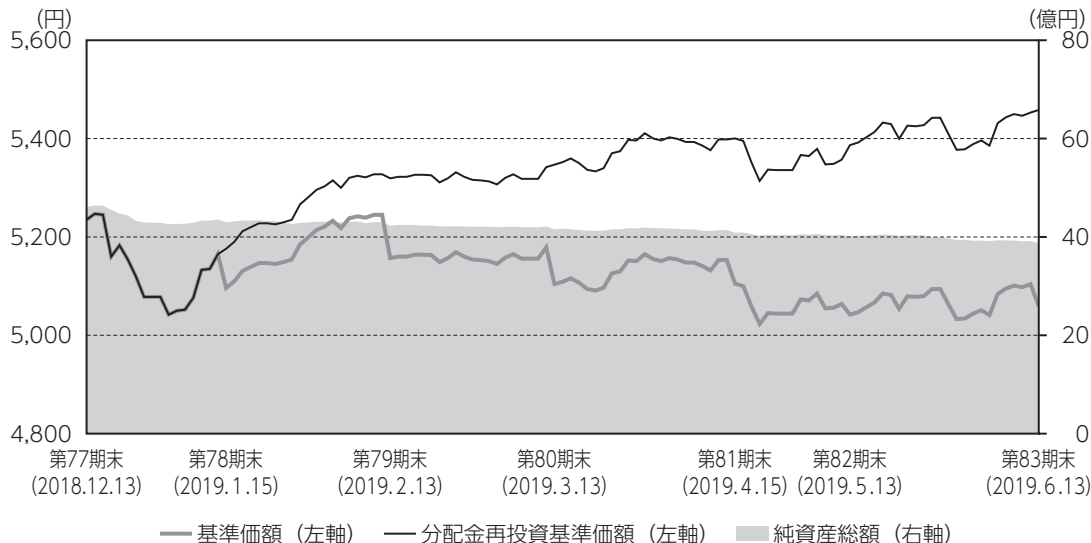
決 算 期	基 準 価 額			S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公 社 債 率 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
54期末(2017年 1 月13日)	7,021	80	0.9	16,743	1.4	0.0	98.8	9,250
55期末(2017年 2 月13日)	6,994	80	0.8	16,895	0.9	0.0	98.5	9,194
56期末(2017年 3 月13日)	6,811	80	△1.5	16,375	△3.1	0.0	99.5	8,968
57期末(2017年 4 月13日)	6,952	80	3.2	17,245	5.3	0.0	98.4	9,084
58期末(2017年 5 月15日)	6,774	80	△1.4	16,832	△2.4	0.0	98.3	8,511
59期末(2017年 6 月13日)	6,797	80	1.5	17,264	2.6	0.0	99.0	8,584
60期末(2017年 7 月13日)	6,566	80	△2.2	16,820	△2.6	—	98.3	8,199
61期末(2017年 8 月14日)	6,535	80	0.7	16,931	0.7	0.0	98.6	8,044
62期末(2017年 9 月13日)	6,570	80	1.8	17,345	2.4	—	98.5	7,792
63期末(2017年10月13日)	6,483	80	△0.1	17,423	0.4	—	98.7	7,543
64期末(2017年11月13日)	6,449	80	0.7	17,559	0.8	—	97.8	7,494
65期末(2017年12月13日)	6,381	80	0.2	17,710	0.9	—	98.7	7,285
66期末(2018年 1 月15日)	6,115	80	△2.9	17,071	△3.6	—	98.8	6,763
67期末(2018年 2 月13日)	5,757	80	△4.5	16,178	△5.2	—	98.7	6,276
68期末(2018年 3 月13日)	5,780	80	1.8	16,562	2.4	—	98.8	6,147
69期末(2018年 4 月13日)	5,680	80	△0.3	16,509	△0.3	—	99.0	5,928
70期末(2018年 5 月14日)	5,767	80	2.9	17,388	5.3	—	98.3	5,868
71期末(2018年 6 月13日)	5,718	80	0.5	17,739	2.0	—	99.0	5,717
72期末(2018年 7 月13日)	5,670	80	0.6	18,232	2.8	—	98.3	5,554
73期末(2018年 8 月13日)	5,580	80	△0.2	18,155	△0.4	—	98.5	5,412
74期末(2018年 9 月13日)	5,512	80	0.2	18,425	1.5	—	98.6	5,170
75期末(2018年10月15日)	5,174	80	△4.7	17,258	△6.3	—	98.4	4,727
76期末(2018年11月13日)	5,290	80	3.8	18,158	5.2	—	98.5	4,863
77期末(2018年12月13日)	5,235	80	0.5	18,086	△0.4	—	99.2	4,613
78期末(2019年 1 月15日)	5,096	80	△1.1	17,829	△1.4	—	98.4	4,299
79期末(2019年 2 月13日)	5,157	80	2.8	19,054	6.9	—	98.0	4,228
80期末(2019年 3 月13日)	5,104	80	0.5	19,318	1.4	0.0	98.5	4,153
81期末(2019年 4 月15日)	5,105	50	1.0	19,863	2.8	—	98.7	4,088
82期末(2019年 5 月13日)	5,042	50	△0.3	19,683	△0.9	—	98.6	4,015
83期末(2019年 6 月13日)	5,059	50	1.3	20,084	2.0	—	98.8	3,881

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て) の所有権およびその一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第78期首：5,235円

第83期末：5,059円（既払分配金390円）

騰落率：4.3%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（円ヘッジクラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（円ヘッジクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（円ヘッジクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現 地 通 貨 建 て)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率 組 入 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第78期	(期首) 2018年12月13日	円 5,235	% －	18,086	% －	% －	% 99.2
	12月末	5,042	△3.7	17,129	△5.3	－	97.4
	(期末) 2019年 1 月15日	5,176	△1.1	17,829	△1.4	－	98.4
第79期	(期首) 2019年 1 月15日	5,096	－	17,829	－	－	98.4
	1 月末	5,221	2.5	18,890	6.0	－	98.7
	(期末) 2019年 2 月13日	5,237	2.8	19,054	6.9	－	98.0
第80期	(期首) 2019年 2 月13日	5,157	－	19,054	－	－	98.0
	2 月末	5,153	△0.1	19,042	△0.1	－	98.4
	(期末) 2019年 3 月13日	5,184	0.5	19,318	1.4	0.0	98.5
第81期	(期首) 2019年 3 月13日	5,104	－	19,318	－	0.0	98.5
	3 月末	5,165	1.2	19,783	2.4	－	98.9
	(期末) 2019年 4 月15日	5,155	1.0	19,863	2.8	－	98.7
第82期	(期首) 2019年 4 月15日	5,105	－	19,863	－	－	98.7
	4 月末	5,071	△0.7	19,621	△1.2	－	99.2
	(期末) 2019年 5 月13日	5,092	△0.3	19,683	△0.9	－	98.6
第83期	(期首) 2019年 5 月13日	5,042	－	19,683	－	－	98.6
	5 月末	5,034	△0.2	19,619	△0.3	－	98.6
	(期末) 2019年 6 月13日	5,109	1.3	20,084	2.0	－	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.12.14～2019.6.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

当作成期の前半は、世界経済の成長に対する不安が高まり株式市況などが大きく下落する中で、リート市況も下落しました。その後は、米中貿易摩擦の緊張が和らいだことや米国の金融引き締めに対する慎重な姿勢が好感されたことなどを背景に、おおむね堅調な推移となりました。後半も、債券利回りが低下したことなどから、リート市況はおおむね上昇基調で推移しました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、香港やオーストラリア、シンガポールなどが堅調だった一方で、オランダやフランスなどが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、産業施設や住宅、各種不動産などが堅調だった一方で、商業施設などが低調でした。

■短期金利市況

日本では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、F R B（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを2018年12月に0.25%ポイント引き上げ、2.25～2.50%としました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

世界経済は引き続き堅調に推移するものとみています。米中貿易摩擦や欧州の新たな排ガス規制などの短期的な悪材料はあるものの、経済成長の継続を背景に主要各国でインフレ率の上昇が予想され、金利はさらに上昇するとみています。F R B（米国連邦準備制度理事会）は2019年半ばに金融引き締めをいったん終了し、E C B（欧州中央銀行）は2019年夏ごろに利上げを開始するとみています。日本においては、2020年後半まで量的・質的金融緩和を継続するとみています。リーートの債券利回り対比での魅力的な配当利回りなどを背景に、リーートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプション（買う権利）を売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2018.12.14～2019.6.13)

■当ファンド

リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。
リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、産業施設や特殊用途施設などをオーバーウエートとし、商業施設やオフィスなどをアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に、米国やシンガポール、カナダなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、英国やオランダなどをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

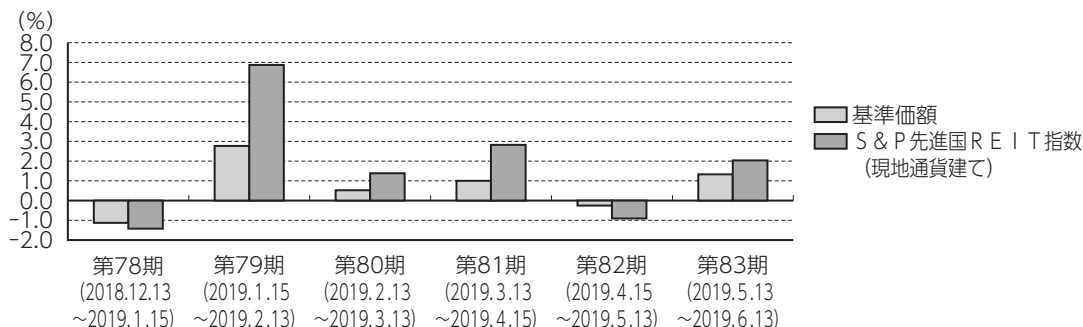
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年12月14日 ～2019年1月15日	2019年1月16日 ～2019年2月13日	2019年2月14日 ～2019年3月13日	2019年3月14日 ～2019年4月15日	2019年4月16日 ～2019年5月13日	2019年5月14日 ～2019年6月13日
当期分配金（税込み）（円）	80	80	80	50	50	50
対基準価額比率（％）	1.55	1.53	1.54	0.97	0.98	0.98
当期の収益（円）	49	50	46	43	42	42
当期の収益以外（円）	30	29	33	6	8	7
翌期繰越分配対象額（円）	978	949	915	908	900	892

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 49.91円	✓ 50.38円	✓ 46.26円	✓ 43.00円	✓ 42.00円	✓ 42.20円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	746.88	749.23	749.84	750.81	751.52	751.83
(d) 分配準備積立金	✓ 261.87	✓ 229.71	✓ 199.49	✓ 164.84	✓ 157.14	✓ 148.83
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,058.67	1,029.33	995.59	958.67	950.67	942.87
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	978.67	949.33	915.59	908.67	900.67	892.87

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

世界的に製造業には減速が見られますが、先進国の経済成長率は引き続き好調です。消費需要は力強い労働市場に支えられており、労働市場はサービスセクターがけん引しています。米中貿易摩擦に関しては、当初の予想よりも遅くなりますが、いずれは合意に達する可能性が高いと考えています。F R B（米国連邦準備制度理事会）は忍耐強い金融政策というガイダンスを据え置いています。リートにとって追い風となっています。債券利回り対比でのリートの魅力的な配当利回りなどを背景に、リートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第78期～第83期 (2018.12.14～2019.6.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	34円	0.660%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,121円です。
（投 信 会 社）	(11)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(22)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.015)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	34	0.664	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
 (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
 (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
 (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

決 算 期	第 78 期 ～ 第 83 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千円	千円	千円	千円
外国 (邦貨建)	5,155.9116	245.815	19,583.98701	937.171

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

第 78 期 付				第 83 期 付					
買 柄		□ 数	金 額	平均単価	売 柄		□ 数	金 額	平均単価
銘		千口	千円	円	銘		千口	千円	円
					GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)		19,583.98701	937,171	47

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーストック・マザーファンドにおける
 当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

決 算 期		第 78 期 ～ 第 83 期					
区 分	買付額等 A	うち利 害 関係人との 取引状況B	B / A	売付額等 C	うち利 害 関係人との 取引状況D	D / C	
公社債	百万円 250	百万円 250	% 100.0	百万円 —	百万円 —	% —	
コール・ローン	6,211,128	—	—	—	—	—	

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 83 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島)	千口	千円	%
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	79,680.16223	3,836,759	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第77期末	第 83 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 399	千口 399	千円 399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年6月13日現在

項 目	第 83 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,836,759	% 97.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	100,242	2.6
投資信託財産総額	3,937,401	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年1月15日)、(2019年2月13日)、(2019年3月13日)、(2019年4月15日)、(2019年5月13日)、(2019年6月13日)現在

項 目	第 78 期 末	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末	第 83 期 末
(A) 資産	4,372,011,305円	4,300,388,385円	4,224,018,023円	4,148,796,703円	4,069,833,479円	3,937,401,302円
コール・ローン等	140,546,098	156,194,886	133,451,281	111,941,339	109,545,639	100,242,330
投資信託受益証券(評価額)	4,231,065,286	4,143,793,578	4,090,166,861	4,036,455,523	3,959,887,999	3,836,759,171
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	399,921	399,921	399,881	399,841	399,841	399,801
(B) 負債	72,776,628	72,209,552	70,727,961	60,545,132	53,989,020	55,420,008
未払収益分配金	67,497,532	65,587,204	65,094,824	40,040,313	39,823,868	38,365,430
未払解約金	－	2,013,098	1,251,062	15,414,000	9,909,440	12,404,540
未払信託報酬	5,243,268	4,543,925	4,296,064	4,974,221	4,111,407	4,480,525
その他未払費用	35,828	65,325	86,011	116,598	144,305	169,513
(C) 純資産総額(A－B)	4,299,234,677	4,228,178,833	4,153,290,062	4,088,251,571	4,015,844,459	3,881,981,294
元本	8,437,191,530	8,198,400,528	8,136,853,043	8,008,062,754	7,964,773,653	7,673,086,167
次期繰越損益金	△4,137,956,853	△3,970,221,695	△3,983,562,981	△3,919,811,183	△3,948,929,194	△3,791,104,873
(D) 受益権総口数	8,437,191,530口	8,198,400,528口	8,136,853,043口	8,008,062,754口	7,964,773,653口	7,673,086,167口
1万口当り基準価額(C/D)	5,096円	5,157円	5,104円	5,105円	5,042円	5,059円

* 第77期末における元本額は8,813,002,078円、当作成期間(第78期～第83期)中における追加設定元本額は220,737,782円、同解約元本額は1,360,653,693円です。

* 第83期末の計算口数当りの純資産額は5,059円です。

* 第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,791,104,873円です。

■損益の状況

第78期 自2018年12月14日 至2019年1月15日 第81期 自2019年3月14日 至2019年4月15日
第79期 自2019年1月16日 至2019年2月13日 第82期 自2019年4月16日 至2019年5月13日
第80期 自2019年2月14日 至2019年3月13日 第83期 自2019年5月14日 至2019年6月13日

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(A) 配当等収益	47,394,004円	42,944,955円	41,963,406円	38,678,045円	37,591,434円	35,213,560円
受取配当金	47,395,117	42,948,841	41,967,767	38,681,816	37,593,143	35,217,130
受取利息	38	19	11	2	2	26
支払利息	△ 1,151	△ 3,905	△ 4,372	△ 3,773	△ 1,711	△ 3,596
(B) 有価証券売買損益	△ 92,287,372	77,152,628	△ 15,692,390	6,990,750	△ 43,868,058	20,865,580
売買益	2,960,719	78,589,528	167,790	7,407,854	458,919	21,141,036
売買損	△ 95,248,091	△ 1,436,900	△ 15,860,180	△ 417,104	△ 44,326,977	△ 275,456
(C) 信託報酬等	△ 5,282,868	△ 4,573,422	△ 4,322,245	△ 5,004,987	△ 4,139,114	△ 4,507,830
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 50,176,236	115,524,161	21,948,771	40,663,808	△ 10,415,738	51,571,310
(E) 前期繰越損益金	△3,345,682,501	△3,335,363,417	△3,250,778,138	△3,224,094,394	△3,191,693,871	△3,116,672,085
(F) 追加信託差損益金	△ 674,600,584	△ 684,795,235	△ 689,638,790	△ 696,340,284	△ 706,995,717	△ 687,638,668
(配当等相当額)	(630,164,157)	(614,249,785)	(610,137,338)	(601,257,515)	(598,570,166)	(576,888,766)
(売買損益相当額)	(△1,304,764,741)	(△1,299,045,020)	(△1,299,776,128)	(△1,297,597,799)	(△1,305,565,883)	(△1,264,527,434)
(G) 合計(D + E + F)	△4,070,459,321	△3,904,634,491	△3,918,468,157	△3,879,770,870	△3,909,105,326	△3,752,739,443
(H) 収益分配金	△ 67,497,532	△ 65,587,204	△ 65,094,824	△ 40,040,313	△ 39,823,868	△ 38,365,430
次期繰越損益金(G+H)	△4,137,956,853	△3,970,221,695	△3,983,562,981	△3,919,811,183	△3,948,929,194	△3,791,104,873
追加信託差損益金	△ 674,600,584	△ 684,795,235	△ 689,638,790	△ 696,340,284	△ 706,995,717	△ 687,638,668
(配当等相当額)	(630,164,157)	(614,249,785)	(610,137,338)	(601,257,515)	(598,570,166)	(576,888,766)
(売買損益相当額)	(△1,304,764,741)	(△1,299,045,020)	(△1,299,776,128)	(△1,297,597,799)	(△1,305,565,883)	(△1,264,527,434)
分配準備積立金	195,560,552	164,055,639	134,871,814	126,411,573	118,793,851	108,221,558
繰越損益金	△3,658,916,821	△3,449,482,099	△3,428,796,005	△3,349,882,472	△3,360,727,328	△3,211,687,763

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(a) 経費控除後の配当等収益	42,111,134円	41,309,486円	37,641,144円	34,439,300円	33,452,314円	32,383,078円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	630,164,157	614,249,785	610,137,338	601,257,515	598,570,166	576,888,766
(d) 分配準備積立金	220,946,950	188,333,357	162,325,494	132,012,586	125,165,405	114,203,910
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	893,222,241	843,892,628	810,103,976	767,709,401	757,187,885	723,475,754
(f) 分配金	67,497,532	65,587,204	65,094,824	40,040,313	39,823,868	38,365,430
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	825,724,709	778,305,424	745,009,152	727,669,088	717,364,017	685,110,324
(h) 受益権総口数	8,437,191,530口	8,198,400,528口	8,136,853,043口	8,008,062,754口	7,964,773,653口	7,673,086,167口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
1 万 口 当 り 分 配 金	80円	80円	80円	50円	50円	50円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税5％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし（毎月分配型）

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			S & P先進国REIT指数 (円建て)		公 社 債 率 組入比率	投資信託 組入比率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
54期末(2017年 1 月13日)	8,738	150	△0.1	22,145	0.1	0.0	97.8	5,079
55期末(2017年 2 月13日)	8,665	150	0.9	22,327	0.8	0.0	97.9	5,166
56期末(2017年 3 月13日)	8,469	150	△0.5	21,816	△2.3	0.0	98.0	5,100
57期末(2017年 4 月13日)	8,255	150	△0.8	22,005	0.9	0.0	97.9	5,171
58期末(2017年 5 月15日)	8,252	150	1.8	22,179	0.8	0.0	98.2	5,204
59期末(2017年 6 月13日)	8,028	150	△0.9	22,189	0.0	0.0	99.0	5,021
60期末(2017年 7 月13日)	7,970	150	1.1	22,302	0.5	—	98.1	5,007
61期末(2017年 8 月14日)	7,691	150	△1.6	21,838	△2.1	0.0	98.2	4,864
62期末(2017年 9 月13日)	7,767	150	2.9	22,622	3.6	—	98.4	4,830
63期末(2017年10月13日)	7,747	150	1.7	23,096	2.1	—	97.8	4,793
64期末(2017年11月13日)	7,708	150	1.4	23,401	1.3	—	98.0	4,820
65期末(2017年12月13日)	7,617	150	0.8	23,664	1.1	—	98.9	4,730
66期末(2018年 1 月15日)	7,195	150	△3.6	22,560	△4.7	—	98.4	4,466
67期末(2018年 2 月13日)	6,574	150	△6.5	20,903	△7.3	—	98.1	4,034
68期末(2018年 3 月13日)	6,447	150	0.3	21,053	0.7	—	98.4	3,910
69期末(2018年 4 月13日)	6,390	100	0.7	21,135	0.4	—	97.9	3,866
70期末(2018年 5 月14日)	6,548	100	4.0	22,471	6.3	—	98.2	3,772
71期末(2018年 6 月13日)	6,534	100	1.3	23,070	2.7	—	98.4	3,745
72期末(2018年 7 月13日)	6,565	100	2.0	24,033	4.2	—	98.4	3,755
73期末(2018年 8 月13日)	6,353	100	△1.7	23,504	△2.2	—	96.7	3,045
74期末(2018年 9 月13日)	6,307	100	0.8	23,973	2.0	—	98.2	2,937
75期末(2018年10月15日)	5,969	100	△3.8	22,609	△5.7	—	98.1	2,759
76期末(2018年11月13日)	6,173	100	5.1	24,048	6.4	—	98.5	2,899
77期末(2018年12月13日)	6,115	70	0.2	23,855	△0.8	—	98.6	2,720
78期末(2019年 1 月15日)	5,781	70	△4.3	22,635	△5.1	—	98.2	2,607
79期末(2019年 2 月13日)	5,974	70	4.5	24,582	8.6	—	99.0	2,627
80期末(2019年 3 月13日)	5,986	70	1.4	25,110	2.1	0.0	99.0	2,575
81期末(2019年 4 月15日)	6,027	70	1.9	25,975	3.4	—	98.3	2,573
82期末(2019年 5 月13日)	5,825	70	△2.2	25,177	△3.1	—	98.5	2,423
83期末(2019年 6 月13日)	5,790	70	0.6	25,424	1.0	—	98.1	2,215

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数（円建て）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。
S & P先進国REIT指数（円建て）の所有権およびその他の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

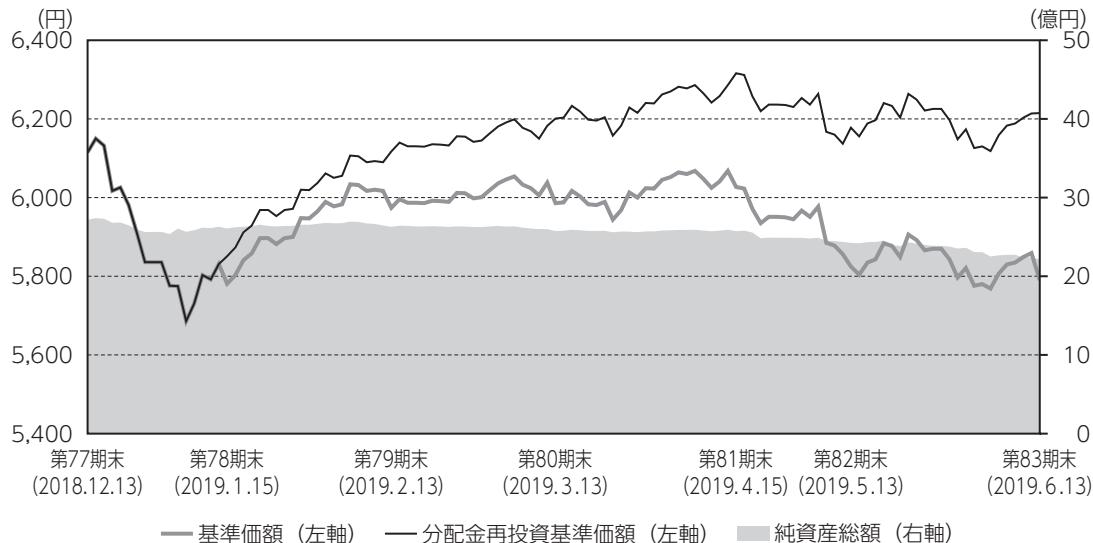
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第78期首：6,115円

第83期末：5,790円（既払分配金420円）

騰落率：1.6%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、為替相場において円高が進んだことはマイナス要因となりましたが、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ グローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

	年 月 日	基 準 価 額		S&P先進国 R E I T 指数 (円 建 指数で)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第78期	(期首) 2018年12月13日	円 6,115	% -	23,855	% -	% -	% 98.6
	12月末	5,776	△5.5	22,097	△7.4	-	97.0
	(期末) 2019年 1 月15日	5,851	△4.3	22,635	△5.1	-	98.2
第79期	(期首) 2019年 1 月15日	5,781	-	22,635	-	-	98.2
	1 月末	5,989	3.6	24,246	7.1	-	99.2
	(期末) 2019年 2 月13日	6,044	4.5	24,582	8.6	-	99.0
第80期	(期首) 2019年 2 月13日	5,974	-	24,582	-	-	99.0
	2 月末	6,001	0.5	24,716	0.5	-	99.6
	(期末) 2019年 3 月13日	6,056	1.4	25,110	2.1	0.0	99.0
第81期	(期首) 2019年 3 月13日	5,986	-	25,110	-	0.0	99.0
	3 月末	6,024	0.6	25,533	1.7	-	98.3
	(期末) 2019年 4 月15日	6,097	1.9	25,975	3.4	-	98.3
第82期	(期首) 2019年 4 月15日	6,027	-	25,975	-	-	98.3
	4 月末	5,951	△1.3	25,457	△2.0	-	98.8
	(期末) 2019年 5 月13日	5,895	△2.2	25,177	△3.1	-	98.5
第83期	(期首) 2019年 5 月13日	5,825	-	25,177	-	-	98.5
	5 月末	5,821	△0.1	25,052	△0.5	-	99.0
	(期末) 2019年 6 月13日	5,860	0.6	25,424	1.0	-	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018.12.14～2019.6.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

当作成期の前半は、世界経済の成長に対する不安が高まり株式市況などが大きく下落する中で、リート市況も下落しました。その後は、米中貿易摩擦の緊張が和らいだことや米国の金融引き締めに対する慎重な姿勢が好感されたことなどを背景に、おおむね堅調な推移となりました。後半も、債券利回りが低下したことなどから、リート市況はおおむね上昇基調で推移しました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、香港やオーストラリア、シンガポールなどが堅調だった一方で、オランダやフランスなどが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、産業施設や住宅、各種不動産などが堅調だった一方で、商業施設などが低調でした。

■為替相場

当ファンドが組み入れている先進国リートの対象通貨の為替市況は、米ドルの下落などによりポートフォリオ全体としては対円で下落しました。

米ドル円は、当作成期首より、世界経済の減速懸念を受けてリスク回避の円買いが進んだことから、急速に下落しました。しかし2019年1月は、パウエルF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言を手掛かりに米ドルは反発し、4月中旬にかけて米中通商協議の進展期待などを背景におおむね堅調に推移しました。5月に入ると、トランプ米国大統領が対中制裁関税率引き上げを表明したことを受けて、円高米ドル安が進みました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

世界経済は引き続き堅調に推移するものとみています。米中貿易摩擦や欧州の新たな排ガス規制などの短期的な悪材料はあるものの、経済成長の継続を背景に主要各国でインフレ率の上昇が予想され、金利はさらに上昇するとみています。F R B（米国連邦準備制度理事会）は2019年半ばに金融引き締めをいったん終了し、E C B（欧州中央銀行）は2019年夏ごろに利上げを開始するとみています。日本においては、2020年後半まで量的・質的金融緩和を継続するとみています。リートの債券利回り対比での魅力的な配当利回りなどを背景に、リートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプション（買う権利）を売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2018.12.14～2019.6.13）

■当ファンド

リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、産業施設や特殊用途施設などをオーバーウエートとし、商業施設やオフィスなどをアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に、米国やシンガポール、カナダなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、英国、オランダなどをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

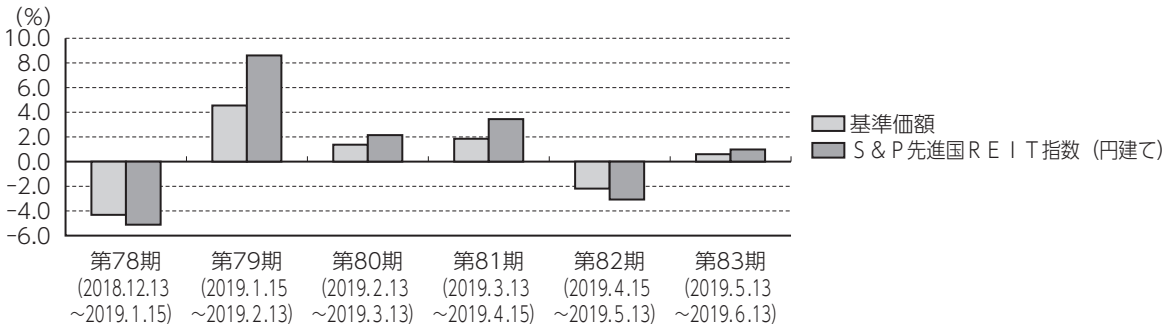
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年12月14日 ～2019年1月15日	2019年1月16日 ～2019年2月13日	2019年2月14日 ～2019年3月13日	2019年3月14日 ～2019年4月15日	2019年4月16日 ～2019年5月13日	2019年5月14日 ～2019年6月13日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	70	70	70
対基準価額比率（％）	1.20	1.16	1.16	1.15	1.19	1.19
当期の収益（円）	70	70	67	65	65	61
当期の収益以外（円）	—	—	2	4	4	8
翌期繰越分配対象額（円）	1,520	1,522	1,520	1,515	1,510	1,502

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 72.15円	✓ 71.99円	✓ 67.58円	✓ 65.35円	✓ 65.05円	✓ 61.29円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,517.74	1,518.51	1,518.52	1,518.55	✓ 1,515.81	✓ 1,510.90
(d) 分配準備積立金	0.21	2.34	✓ 4.32	✓ 1.90	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,590.12	1,592.84	1,590.43	1,585.81	1,580.87	1,572.19
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,520.12	1,522.84	1,520.43	1,515.81	1,510.87	1,502.19

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

世界的に製造業には減速が見られますが、先進国の経済成長率は引き続き好調です。消費需要は力強い労働市場に支えられており、労働市場はサービスセクターがけん引しています。米中貿易摩擦に関しては、当初の予想よりも遅くなりますが、いずれは合意に達する可能性が高いと考えています。F R B（米国連邦準備制度理事会）は忍耐強い金融政策というガイダンスを据え置いています。リートにとって追い風となっています。リーートの債券利回り対比での魅力的な配当利回りなどを背景に、リーートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第78期～第83期 (2018.12.14～2019.6.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	39円	0.660%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,937円です。
（投 信 会 社）	(13)	(0.215)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(26)	(0.430)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	39	0.664	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
 (注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
 (注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
 (注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

決 算 期	第 78 期 ～ 第 83 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国（邦貨建）	千口 3,839.67001	千円 257,930	千口 9,377.9527	千円 638,075

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

第 78 期				～	第 83 期				
買		付			売		付		
銘	柄	□ 数	金 額	平均単価	銘	柄	□ 数	金 額	平均単価
		千□	千円	円			千□	千円	円
GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)		1,075.08716	70,000	65	GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS (ケイマン諸島)		9,377.9527	638,075	68

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

決 算 期	第 78 期 ～ 第 83 期					
	第 78 期			第 83 期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
区 分						
公社債	百万円 250	百万円 250	% 100.0	百万円 —	百万円 —	% —
コール・ローン	6,211,128	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 83 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS	千口 32,211.52566	千円 2,174,149	% 98.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第77期末	第 83 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口 99	千口 99	千円 99
ダイワ・マネースtock・マザーファンド			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年6月13日現在

項 目	第 83 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 2,174,149	% 95.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	112,154	4.9
投資信託財産総額	2,286,403	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年1月15日）、（2019年2月13日）、（2019年3月13日）、（2019年4月15日）、（2019年5月13日）、（2019年6月13日）現在

項 目	第 78 期 末	第 79 期 末	第 80 期 末	第 81 期 末	第 82 期 末	第 83 期 末
(A) 資産	2,642,937,678円	2,710,200,107円	2,623,824,233円	2,606,448,400円	2,458,062,490円	2,286,403,784円
コール・ローン等	81,425,686	108,235,638	73,265,104	75,526,193	70,388,215	112,154,699
投資信託受益証券(評価額)	2,561,412,012	2,601,864,489	2,550,459,159	2,530,822,247	2,387,574,315	2,174,149,135
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	99,980	99,980	99,970	99,960	99,960	99,950
(B) 負債	35,314,233	82,385,561	47,830,933	33,050,524	34,218,364	71,219,123
未払収益分配金	31,572,123	30,789,790	30,121,176	29,888,456	29,129,629	26,781,492
未払解約金	581,400	48,754,226	14,979,600	—	2,472,797	41,677,481
未払信託報酬	3,138,300	2,801,209	2,677,591	3,090,155	2,526,524	2,656,423
その他未払費用	22,410	40,336	52,566	71,913	89,414	103,727
(C) 純資産総額(A－B)	2,607,623,445	2,627,814,546	2,575,993,300	2,573,397,876	2,423,844,126	2,215,184,661
元本	4,510,303,373	4,398,541,483	4,303,025,194	4,269,779,452	4,161,375,575	3,825,927,480
次期繰越損益金	△1,902,679,928	△1,770,726,937	△1,727,031,894	△1,696,381,576	△1,737,531,449	△1,610,742,819
(D) 受益権総口数	4,510,303,373口	4,398,541,483口	4,303,025,194口	4,269,779,452口	4,161,375,575口	3,825,927,480口
1万口当り基準価額(C/D)	5,781円	5,974円	5,986円	6,027円	5,825円	5,790円

* 第77期末における元本額は4,449,416,491円、当作成期間（第78期～第83期）中における追加設定元本額は292,959,943円、同解約元本額は916,448,954円です。

* 第83期末の計算口数当りの純資産額は5,790円です。

* 第83期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,610,742,819円です。

■損益の状況

第78期 自2018年12月14日 至2019年1月15日
第79期 自2019年1月16日 至2019年2月13日
第80期 自2019年2月14日 至2019年3月13日
第81期 自2019年3月14日 至2019年4月15日
第82期 自2019年4月16日 至2019年5月13日
第83期 自2019年5月14日 至2019年6月13日

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(A) 配当等収益	35,708,361円	32,446,720円	31,297,451円	29,744,311円	29,617,332円	26,122,202円
受取配当金	35,709,080	32,448,768	31,299,300	29,747,061	29,618,598	26,125,517
受取利息	18	5	5	7	2	28
支払利息	△ 737	△ 2,053	△ 1,854	△ 2,757	△ 1,268	△ 3,343
(B) 有価証券売買損益	△ 146,725,509	84,900,229	6,759,921	20,555,556	△ 82,160,242	△ 10,031,303
売買益	1,408,627	86,986,439	7,076,511	20,911,097	770,799	2,243,639
売買損	△ 148,134,136	△ 2,086,210	△ 316,590	△ 355,541	△ 82,931,041	△ 12,274,942
(C) 信託報酬等	△ 3,162,093	△ 2,819,135	△ 2,693,903	△ 3,109,572	△ 2,544,025	△ 2,672,601
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 114,179,241	114,527,814	35,363,469	47,190,295	△ 55,086,935	13,418,298
(E) 前期繰越損益金	△ 1,184,992,329	△ 1,280,365,771	△ 1,167,692,536	△ 1,150,514,591	△ 1,099,449,931	△ 1,073,067,581
(F) 追加信託差損益金	△ 571,936,235	△ 574,099,190	△ 564,581,651	△ 563,168,824	△ 553,864,954	△ 524,312,044
(配当等相当額)	(684,550,677)	(667,924,315)	(653,425,550)	(648,389,067)	(630,787,440)	(578,060,219)
(売買損益相当額)	(△1,256,486,912)	(△1,242,023,505)	(△1,218,007,201)	(△1,211,557,891)	(△1,184,652,394)	(△1,102,372,263)
(G) 合計(D + E + F)	△ 1,871,107,805	△ 1,739,937,147	△ 1,696,910,718	△ 1,666,493,120	△ 1,708,401,820	△ 1,583,961,327
(H) 収益分配金	△ 31,572,123	△ 30,789,790	△ 30,121,176	△ 29,888,456	△ 29,129,629	△ 26,781,492
次期繰越損益金(G+H)	△ 1,902,679,928	△ 1,770,726,937	△ 1,727,031,894	△ 1,696,381,576	△ 1,737,531,449	△ 1,610,742,819
追加信託差損益金	△ 571,936,235	△ 574,099,190	△ 564,581,651	△ 564,338,663	△ 555,921,276	△ 527,643,936
(配当等相当額)	(684,550,677)	(667,924,315)	(653,425,550)	(647,219,228)	(628,731,118)	(574,728,327)
(売買損益相当額)	(△1,256,486,912)	(△1,242,023,505)	(△1,218,007,201)	(△1,211,557,891)	(△1,184,652,394)	(△1,102,372,263)
分配準備積立金	1,069,789	1,906,729	821,432	—	—	—
繰越損益金	△ 1,331,813,482	△ 1,198,534,476	△ 1,163,271,675	△ 1,132,042,913	△ 1,181,610,173	△ 1,083,098,883

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
(a) 経費控除後の配当等収益	32,546,268円	31,667,229円	29,081,984円	27,905,620円	27,073,307円	23,449,600円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	684,550,677	667,924,315	653,425,550	648,389,067	630,787,440	578,060,219
(d) 分配準備積立金	95,644	1,029,290	1,860,624	812,997	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	717,192,589	700,620,834	684,368,158	677,107,684	657,860,747	601,509,819
(f) 分配金	31,572,123	30,789,790	30,121,176	29,888,456	29,129,629	26,781,492
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	685,620,466	669,831,044	654,246,982	647,219,228	628,731,118	574,728,327
(h) 受益権総口数	4,510,303,373口	4,398,541,483口	4,303,025,194口	4,269,779,452口	4,161,375,575口	3,825,927,480口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 78 期	第 79 期	第 80 期	第 81 期	第 82 期	第 83 期
1 万 口 当 り 分 配 金	70円	70円	70円	70円	70円	70円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド
円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年6月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2018年2月28日

(円)

資産		
担保付スワップ投資の評価額（簿価： 30,104,784,568円）		15,026,913,085
デリバティブ金融商品の評価額		196,932,456
未収利息		2,671,040
約定未収金		180,000,000
資産合計		15,406,516,581
負債		
デリバティブ金融商品の評価額		200,000,445
未払報酬代行会社報酬		2,671,040
未払償還金		180,000,000
負債合計		382,671,485
償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産		15,023,845,096
帰属先別純資産：		
ノンヘッジクラス受益証券		3,894,387,685
円ヘッジクラス受益証券		6,617,797,617
通貨セレクトクラス受益証券		4,428,176,149
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券		45,888,216
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券		37,595,429
発行済受益証券口数：		
ノンヘッジクラス受益証券		54,779,859.85
円ヘッジクラス受益証券		130,555,687.84
通貨セレクトクラス受益証券		116,278,360.85
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券		782,544.89
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券		598,712.21
受益証券一口当り純資産額：		
ノンヘッジクラス受益証券		71.092
円ヘッジクラス受益証券		50.689
通貨セレクトクラス受益証券		38.083
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券		58.640
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券		62.794

包括利益計算書

2018年2月28日に終了した年度

(円)

手数料収入	3,203,961,936
担保付スワップ投資による純損失	(3,236,398,674)
デリバティブ純損失	(245,196,768)
投資純損失	(277,633,506)
営業費用	102,975,283
営業費用合計	102,975,283
金融費用控除前営業損失	(380,608,789)
償還可能受益証券の保有者への分配金	(3,100,986,653)
分配金支払後の償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の変動	(3,481,595,442)

デリバティブ金融商品（為替先渡契約）

決済日	契約数	受取（評価益） （円）	支払（評価損） （円）	（純）評価額 （円）
2018年3月13日	18	147,072,506	(179,542,802)	(32,470,296)
2018年3月22日	50	49,859,950	(20,457,643)	29,402,307
（純）評価額		196,932,456	(200,000,445)	(3,067,989)

<補足情報>

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2018年12月10日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第83期の決算日（2019年6月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を25ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2018年12月14日から2019年6月13日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
801 国庫短期証券 2019/3/18		千円 250,003			千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2019年6月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第9期（決算日 2018年12月10日）

（作成対象期間 2017年12月12日～2018年12月10日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

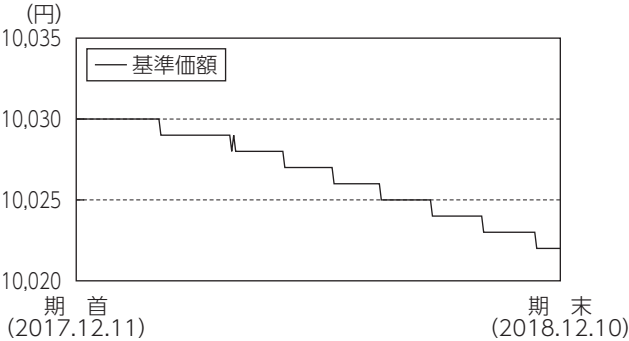
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比	
	円	%	%
(期首)2017年12月11日	10,030	—	—
12月末	10,030	0.0	—
2018年 1 月末	10,030	0.0	—
2 月末	10,029	△0.0	0.5
3 月末	10,029	△0.0	—
4 月末	10,028	△0.0	—
5 月末	10,027	△0.0	—
6 月末	10,026	△0.0	—
7 月末	10,025	△0.0	—
8 月末	10,025	△0.0	—
9 月末	10,024	△0.1	—
10月末	10,023	△0.1	—
11月末	10,022	△0.1	—
(期末)2018年12月10日	10,022	△0.1	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,030円 期末：10,022円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

マイナス金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持し、2018年7月には金融緩和継続のための枠組み強化を決定しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行います。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性及資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (その他)	4 (4)
合 計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	千円	千円	千円
	国債証券	570,003	— (570,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年12月12日から2018年12月10日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
723 国庫短期証券 2018/3/5	220,001 千円		千円
757 国庫短期証券 2018/8/13	200,001		
731 国庫短期証券 2018/7/10	150,000		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	41,081,960	100.0
投資信託財産総額	41,081,960	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	41,081,960,031円
コール・ローン等	41,081,960,031
(B) 負債	22,652,366
未払解約金	20,000,000
その他未払費用	2,652,366
(C) 純資産総額(A－B)	41,059,307,665
元本	40,969,233,796
次期繰越損益金	90,073,869
(D) 受益権総口数	40,969,233,796口
1万口当り基準価額(C／D)	10,022円

* 期首における元本額は30,015,878,475円、当作成期間中における追加設定元本額は79,229,641,363円、同解約元本額は68,276,286,042円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付貸付債権ファンド(為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014－07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014－09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり) 2014－11 9,962円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド－ロボテック－947,268円、ダイワ/ミレーアセット・インド株式ファンド－インドの匠－29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、US短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド－ロボテック－(為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型)－ロボテック(年1回)－(為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 9,976,058円、ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス6,480,317,774円、ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース・インデックス3,588,745,910円、ダイワ上場投信－TOP I Xレバレッジ(2倍) 指数1,873,252,277円、ダイワ上場投信－TOP I Xダブルインバース(－2倍) 指数602,505,046円、ダイワ上場投信－日経平均インバース・インデックス3,957,907,355円、ダイワ上場投信－TOP I Xインバース(－1倍) 指数3,685,167,742円、ダイワ上場投信－J P X日経400レバレッジ・インデックス323,527,433円、ダイワ上場投信－J P X日経400インバース・インデックス2,008,932,965円、ダイワ上場投信－J P X日経400ダブルインバース・インデックス208,181,200円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016－07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016－07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2017－06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2017－06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016－10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(部分為替ヘッジあり) 2016－10 997円、ダイワ日本株式ベア・ファン

ド(適格機関投資家専用) 3,619,070,901円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き・適格機関投資家専用) 199,401,795円、ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ－S Lトレード－ 56,086,003円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド－成長の梟(つちおと)－ 5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ168,192,739円、ダイワ・アセアン需開連株ファンド・マネー・ポートフォリオ151,817,656円、低リスク型アロケーションファンド(適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレーアセット亜細亜株式ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ミドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型)－ロボテック(年1回)－ 100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)－ジャパン・トリプルリターンズー 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)－ジャパン・トリプルリターンズー 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)－ジャパン・トリプルリターンズー ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)－ジャパン・トリプルリターンズー ミドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)－ジャパン・トリプルリターンズー 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 ミドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,022円です。

■損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年12月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,014,406円
受取利息	30,196
支払利息	△ 21,044,602
(B) 有価証券売買損益	△ 2
売買損	△ 2
(C) その他費用	△ 16,468,861
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 37,483,269
(E) 前期繰越損益金	91,400,424
(F) 解約差損益金	△184,462,233
(G) 追加信託差損益金	220,618,947
(H) 合計(D + E + F + G)	90,073,869
次期繰越損益金(H)	90,073,869

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。